

令和元年度
成田市中学生議会
会議録

令和元年8月20日（火）開会

成田市
成田市教育委員会

目 次

●質問一覧（発言順）	2
●議事日程	3
●出席した中学生議員	5
●職務のため出席した中学生議会事務局職員	5
●説明のため出席した者	6
●議事 ◎開会および開議の宣言	7
◎議長選挙	7
◎市長あいさつ	8
◎会期の決定	9
◎会議録署名議員の指名	10
◎代表質問（各校質疑応答）	10
①玉造中学校	10
②成田高等学校附属中学校	13
③下総みどり学園	17
④久住中学校	19
⑤遠山中学校	22
◎再開および議長の交代	25
◎代表質問（各校質疑応答）	25
⑥吾妻中学校	25
⑦成田中学校	28
⑧公津の杜中学校	30
⑨大栄中学校	33
⑩西中学校	36
⑪中台中学校	39
◎市長の講評	42
◎議会の閉会	43

質問一覧（発言順）

1. 玉 造 中 学 校・・・ 自然環境保護への取り組みについて
2. 成田高等学校附属中学校・・・ 成田駅周辺の道路環境について
3. 下 総 み ど り 学 園・・・ 下総地区の生活環境整備について
4. 久 住 中 学 校・・・ 成田市の教育施設について
5. 遠 山 中 学 校・・・ 中郷ふるさと交流館について
6. 吾 妻 中 学 校・・・ 航空機による騒音への対策について
7. 成 田 中 学 校・・・ 交通安全対策について
8. 公 津 の 杜 中 学 校・・・ 国際医療福祉大学との連携について
9. 大 栄 中 学 校・・・ 大栄地区の学習環境の充実について
10. 西 中 学 校・・・ 東京オリンピック・パラリンピックに向けての政策について
11. 中 台 中 学 校・・・ 乳幼児の保育施設について

議事日程について

このことについて、下記のとおり定めましたので通知します。

成田市中学生議会臨時議長

記

議事日程第 1 号

令和元年 8 月 20 日 午後 1 時 30 分開議

第 1 議長選挙

議事日程について

このことについて、下記のとおり定めましたので通知します。

成田市中学生議会議長

記

議事日程第 1 号の 2

第 2 会期の決定

第 3 会議録署名議員の指名

第 4 代表質問

○出席した中学生議員（24 名）

ふじしま 藤島	しげくに 成邦 議員	玉造中学校 3 年生	やまざき 山崎	すみれ 堇 議員	玉造中学校 3 年生
たむら 田村	しゅい 柊生 議員	成田高等学校 付属中学校 2 年生	さいとう 西塔	りく 吏玖 議員	成田高等学校 付属中学校 2 年生
いしい 石井	けいと 啓翔 議員	下総みどり学園 9 年生	ねもと 根本	まさき 将希 議員	下総みどり学園 9 年生
ふるやま 古山	りくと 陸斗 議員	久住中学校 2 年生	とうじょう 東 條	はると 遥斗 議員	久住中学校 3 年生
さかもと 坂本	りな 莉奈 議員	久住中学校 2 年生	はなざと 花里	かいき 海喜 議員	遠山中学校 3 年生
さこだ 迫田	りく 莉空 議員	遠山中学校 2 年生	かわごえ 川越	さきな 咲菜 議員	吾妻中学校 2 年生
ながお 長尾	ともき 朋樹 議員	吾妻中学校 2 年生	わかばやし 若 林	さとり 慧 議員	成田中学校 3 年生
かとう 加藤	あおば 碧羽 議員	成田中学校 2 年生	たなか 田中	ひおり 緋織 議員	公津の杜中学校 2 年生
たなか 田中	あやな 文菜 議員	公津の杜中学校 2 年生	しいな 椎名	はるか 遥香 議員	大栄中学校 3 年生
のざわ 野澤	あやか 彩佳 議員	大栄中学校 3 年生	おがわ 小川	まなか 愛叶 議員	西中学校 3 年生
なみかわ 浪川	しおん 知恩 議員	西中学校 3 年生	かんばら 神原	ほのか 穂乃香 議員	西中学校 3 年生
おおとも 大友	ひなた 日葵 議員	中台中学校 2 年生	おおすか 大須賀	ひかる 光 議員	中台中学校 2 年生

○欠席した中学生議員（なし）

○職務のため出席した中学生議会事務局職員

市民協働課長	石 井 利 明	教育指導課長	藤 田 総
市民協働課 市民相談室長	石 橋 俊 宏	市民協働課主査	小 川 恵 美
議会事務局主査	菅 原 拓 実	議会事務局副主査	本 城 崇 之

○説明のため出席した者

成 田 市 長	小 泉 一 成	副 市 長	関 根 賢 次
教 育 長	関 川 義 雄	企画政策部長	郡 司 光 貴
総 務 部 長	宮 崎 由 紀 男	財 政 部 長	伊 藤 昭 夫
空 港 部 長	森 田 巖	シティプロモーション 部 長	清 水 活 次
市民生活部長	加 瀬 林 操	環 境 部 長	宮 本 和 人
福 祉 部 長	木 下 敬	健康こども部長	田 中 み を
経 済 部 長	五十嵐 昭夫	土 木 部 長	後 藤 行 也
都 市 部 長	岡 田 康 裕	企画政策課長	米 本 文 雄
秘 書 課 長	堀 越 正 宏	総 務 課 長 (選管書記長)	岩 沢 宏 樹
財 政 課 長	小 川 雅 彦	会 計 管 理 者	町 田 浩
水 道 部 長	後 藤 勝	教 育 部 長	神 山 金 男
消 防 長	大 野 勝 也	消防本部次長	鬼 澤 正 春
監査委員事務局 局 長	須 賀 澤 賢 治	農業委員会事務局 局 長	荻 原 幸 夫

◎開会および開議の宣言

〔開始のブザー〕

○臨時議長（市民協働課長） 市民協働課の石井でございます。議長が選出されるまでの間、私が臨時にその職務を行います。ただいまの出席議員数は 24 名であります。定足数に達しましたので、これより「令和元年度 成田市中学生議会」を開会いたします。

◎議長選挙

○臨時議長（市民協働課長） 日程第 1、議長選挙を行います。

中学生議会では、前半と後半でそれぞれ 1 名の議長に議事進行を行っていただきますので、2 名の議長を選出します。投票用紙を配付いたします。

〔投票用紙配付〕

配付漏れはありませんか。配付漏れなしと認めます。

投票箱を検めさせます。

〔投票箱点検〕

異状なしと認めます。念のため申し上げます。投票は単記無記名であります。投票用紙に被選挙人の氏名を記載のうえ、点呼に応じて順次投票をお願いします。点呼を命じます。

〔点呼〕

〔投票〕

投票漏れはありませんか。

投票漏れなしと認めます。投票を終了いたします。

これより開票を行います。立会人に成田高等学校附属中学校、田村柊生議員、下総みどり学園、根本将希議員を指名いたします。両議員の立ち会いをお願いします。

〔開票〕

選挙の結果を報告いたします。

投票総数 24 票、これは先ほどの出席議員数に符合しております。

そのうち有効投票 24 票

無効投票 0 票

有効投票中	西中学校	神原 穂乃香 議員	12 票
	久住中学校	坂本 莉奈 議員	12 票

以上のとおりであります。

よって、西中学校、神原穂乃香議員並びに久住中学校、坂本莉奈議員が議長に当選いたしました。当選されました神原議員と坂本議員が議場におられますので、本席より当選の告知をいたします。ここで議長を交代いたします。前半は、西中学校、神原議長にお願いいたします。神原議長、議長席にお着き願います。

以上をもちまして、臨時議長の職務は終了いたしました。ご協力ありがとうございました。

(午後 1 時 38 分)

○議長（神原穂乃香議員） 西中学校 3 年の神原穂乃香です。議長就任に当たりごあいさつを申し上げます。ただいま中学生議員の皆様のご推挙により、議長に選任いただきまして誠にありがとうございます。スムーズな議事の進行を図っていきますので、皆様のご協力をお願いいたします。

(午後 1 時 39 分)

◎市長あいさつ

○議長（神原穂乃香議員） 議事に入る前に、市長より発言を求められておりますので、これを許します。小泉市長。

〔市長 小泉一成 登壇〕

○市長（小泉一成） 本日ここに、「令和元年度 成田市中学生議会」を招集したとこ

ろ、貴重な夏休み期間にも関わらず、中学生議員の皆さんにご出席をいただき、誠にありがとうございます。

本年も市内 11 の中学校から、24 名の代表生徒の皆さんにお集まりいただきました。この中学生議会は、開かれた市政の一環として、中学生の皆さんから直接、市政に対する意見や要望をいただき、今後の市政運営に反映させるために開催するものでございます。

限られた時間ではございますが、将来の成田・日本を背負っていく皆さんから、幅広いご意見をお伺いしたいと思いますので、それぞれの中学校の代表として、自信をもって質問をしていただきたいと思います。

また、この市議会の雰囲気味わいながら、他の中学生議員の質問・意見や市からの答弁を聞くことで、市政をより身近なものに感じていただきたいと思います。

結びに、本日の中学生議会在が、皆さんにとりまして、実り多きものとなりますことを願ひまして、開会の挨拶といたします。

(午後 1 時 41 分)

◎会期の決定

○議長（神原穂乃香議員） 日程第 2、会期の決定を議題といたします。お諮りいたします。今議会の会期は、本日 1 日間といたしたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

〔各議員より「異議なし」の発声あり〕

○議長（神原穂乃香議員） ご異議なしと認めます。よって会期は、本日 1 日間と決しました。

(午後 1 時 41 分)

◎会議録署名議員の指名

○議長（神原穂乃香議員） 日程第 3、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、議長において、玉造中学校、藤嶋成邦議員、遠山中学校、花里海

喜議員を指名いたします。

(午後 1 時 41 分)

◎代表質問（各校質疑応答）

○議長（神原穂乃香議員） 日程第 4、各中学校からの代表質問を行います。

●玉造中学校

○議長（神原穂乃香議員） 初めに、玉造中学校、藤島成邦議員、並びに山崎堇議員。

〔玉造中学校 議員 2 名 登壇〕

○藤島成邦議員 私は、玉造中学校 3 年の藤島成邦です。

成田市の自然環境保護への取り組みについてお伺いします。

成田市では空港を中心とした都市機能や住環境の整備が進んでいますが、一方で昔ながらの里山、谷津田の美しい自然が残っています。そこには、絶滅危惧種の一つであるタカの仲間のサシバなどを頂点とした生態系ピラミッドが成り立ち、生物多様性が維持されています。

日本を訪れる数多くの外国人旅行者が、まず初めに目にする日本の自然、そして首都圏に住む人々にとって 1 時間程度でアクセスできる身近な自然が成田市にはあります。こうした自然環境に対する保護活動は、国連が掲げる持続可能な開発目標「SDGs」の目的の一つである陸の豊かさを守ることに密接に関連するとともに、成田市にとっては、来訪者が自然と気軽に触れ合える観光資源にも繋がるものと考えます。

自然環境は長い年月をかけて育まれますが、目先の利便性を優先した開発により一瞬で消滅します。そこで成田市の自然環境保護についての方針と取り組みについてお聞かせください。

○議長（神原穂乃香議員） 小泉市長。

〔市長 小泉一成 登壇〕

○市長（小泉一成） 藤島成邦議員の自然環境保護の方針と取り組みについてのご質問

にお答えいたします。

私たちのふるさと成田市は、豊かな水と緑に恵まれ、四季折々の自然と伝統的な地域文化に育まれた、自然と調和した美しいまちとして発展してまいりました。近年では、圏央道や北千葉道路などの広域的な交通網の整備進展、成田空港の更なる機能強化など、開発を伴う取り組みが行われておりますが、環境影響評価などを実施したうえで、自然環境に配慮しながら進められているところです。

このような中、本市では「成田市環境基本条例」に基づき、平成 30 年 3 月に「第 3 次成田市環境基本計画」を策定し、経済成長と環境保全の両立をはかり、持続可能な社会の実現に向けた施策を実施しております。

本計画では、美しい自然や豊かな生態系を未来に引き継ぐために、「安全・安心で快適に暮らせる自然共生のまちをつくる」を基本目標の一つとし、豊かな水と緑などの自然を守り、人間との調和ある共存した環境にやさしいまちづくりを進め、持続可能な環境を次世代に継承していくことを目指しています。この基本目標を実現するため、取組方針として「生物多様性を守り・育む」や「里地や水辺の環境保全機能を高める」などを定め、市民・事業者・市の 3 者で協働して環境の保全に向けた取り組みを進めております。

例えば、水辺環境の保全の取り組みとして、根本名川周辺及び印旛沼周辺における清掃活動や印旛沼に関する環境学習会を開催しております。また、生物多様性を守る取り組みについては、オオキンケイギクなど地域の生態系に重大な影響を及ぼすおそれがある特定外来生物による被害の防止対策を継続的に行っております。

この他にも、本市では動植物生息調査を、おおむね 10 年ごとに実施し、市内の自然環境の現状や地域ごとにどのような動植物が生息しているか、また、これらの状況の変化について把握を行っております。直近の調査において、環境省が取りまとめている絶滅のおそれのある野生生物の種のリスト、いわゆるレッドリストに掲載されている種としましては、議員がおっしゃいましたサシバをはじめ、ハヤブサやミナミメダカなど合計 23 種が確認されております。

今後も、成田の美しい自然環境を残し、生物多様性を守り、将来世代に継承していくため、安全・安心で快適に暮らせる 自然と共生したまちづくりを進めてまいります。

○議長（神原穂乃香議員） 玉造中学校、山崎議員。

〔玉造中学校 山崎議員 自席で起立〕

○山崎堇議員 私は、玉造中学校 3 年の山崎堇です。

ご答弁ありがとうございました。質問を続けます。

成田市の環境保護活動が活発になった後、美しく保たれた自然について、今後どのような形でより多くの人に発信していくのでしょうか。

私は、この多くの人に支えられた成田市の豊かな自然を多くの人に知ってもらいたいと考えておりますが、市として具体的にどのように考えているのか、お答え願います。

○議長（神原穂乃香議員） 宮本環境部長。

〔環境部長 宮本和人 自席で起立〕

○環境部長（宮本和人） 山崎堇議員の保護された自然の情報発信についてのご質問にお答えいたします。

本市の豊かな自然を知っていただくためには、実際に自然と触れ合い、慣れ親しんでいただくことが大切であると考えております。そのために、夏休みに親子で観光船に乗って、印旛沼を見学する環境学習会や、早春の植物、初夏の昆虫、秋の里山、冬の野鳥など成田市内の豊かな自然を学ぶ自然観察会を開催し、自然環境に対する意識の向上を図り、成田市の豊かな自然に興味を持っていただけるよう取り組んでおります。

この他にも、先ほど市長からの答弁にもありました、動植物生息調査につきましては、専門家による調査だけではなく、公募によるボランティアの方々135名の参加をいただき実施しました。その結果をまとめた冊子「なりたの自然環境」と、これを子ども向けに編集した「なりたの自然を見てみよう！」を作成し配布しているほか、市のホームページにも掲載し情報発信しております。

今後も、このような活動や取り組みを通じて、多くの方に本市の豊かな自然を知って、感じて、体験していただけるよう努めてまいりたいと考えております。

○議長（神原穂乃香議員） 玉造中学校、山崎議員。

〔玉造中学校 山崎議員 自席で起立〕

○山崎堇議員 ご答弁ありがとうございました。今のお答えによって、成田市の自然環境がどのように保護されているのかがよくわかりました。また、その他の環境も整えられていることを感じました。

私のことを一つ例にさせていただくと、私は、スポーツを通して多くの人に支えてもらい、スポーツができる環境にいることのありがたさを知りました。その経験から、私は将来、多くの人を支える医学療法士になり、今までの恩を返せるように、誰かに夢や希望を届けられるように頑張っていきたいです。

これで、玉造中学校からの質問を終わります。

（午後 1 時 51 分）

●成田高等学校附属中学校

○議長（神原穂乃香議員） 次に、成田高等学校附属中学校、田村柊生議員並びに西塔吏玖議員。

〔成田高等学校附属中学校 議員 2 名 登壇〕

○田村柊生議員 私は、成田高等学校附属中学校 2 年の田村柊生です。

成田駅から成田山新勝寺までの道路についてお伺いいたします。

成田駅から成田山新勝寺までは、仲之町の坂を通らなければなりません。そこは坂が急になっていて、私の祖母も「急すぎて危ない」と申し出ておりましたし、道幅も狭くなっています。また、私は毎年、祇園祭に参加し山車を引いているのですが、その最中にも危険を感じます。具体的には、祇園祭中に仲之町の坂を山車で上がっていると、歩行者に綱が当たりけが人が出るなどしています。そしてさらに、今年度の初詣参拝者数のランキングで、成田山新勝寺は第 2 位に入っているという調査もあり、成田山新勝寺は、日本でも有数の観光地と言えます。以上を踏まえまして、仲之町の坂道の幅を広くすると良いと思うのですが、市の見解はいかがでしょうか。また、新しい道を造るなどの

方法もあるのではないかと思います、市の考えをお聞かせください。

○議長（神原穂乃香議員） 小泉市長。

〔市長 小泉一成 登壇〕

○市長（小泉一成） 田村柊生議員の成田駅周辺の道路環境についてのご質問にお答えいたします。

はじめに、成田駅から成田山新勝寺までの表参道周辺の環境整備に関する、これまでの経緯や取り組みにつきまして、ご説明いたします。

本市では、参詣客はもちろんのこと、市民の皆様が安全で快適に楽しめる参道の整備を行うとともに、門前町 成田の表参道にふさわしい街並み景観の形成を目指し、平成 2 年から平成 5 年にかけて、地元の皆様と話し合いながら、表参道 整備計画を策定しました。

この計画では、上町及び花崎町地区は、道路を拡幅して歩道を整備することといたしました。仲町地区では、戦前に建てられた伝統的な建築物が数多くあることや、敷地に奥行きがなく建物の後ろ側が急傾斜地のため、道路を広げられないことから、伝統的建築物の保全に努めることといたしました。

仲町地区では、この計画を受け、地元街づくり協議会が中心となり、平成 8 年に「仲町街づくり協定」を策定して、この地区が持つ歴史や伝統などの特性を大切に、成田山新勝寺へと通じる門前らしい街並みの形成に取り組んできたところです。

また、本市でも、これまでに仲町地区をはじめ、上町地区や花崎町地区の各街づくり協議会と協働して、電線類の地中化工事により、道路上にあった電柱を撤去したほか、歩行者と車両が通行する箇所を区分するなど、歩きやすさや安全性の向上を図ってまいりました。

このような地域の方々との取り組みによって、表参道沿線は、門前町の歴史や文化を感じることができる良好な街並みが形成され、平成 28 年 4 月には、千葉県内で初めてとなる日本遺産に認定されました。

さらに、「成田市景観計画」においても、平成 30 年 3 月に表参道沿線を景観形成 重

点地区に指定するなど、本市の代表的な景観として、その保全や形成に取り組んでおります。

議員ご提案の仲町の坂道の幅を広くすることについてであります。ただ今ご説明しましたとおり、この道路には、国の登録有形文化財を含む 伝統的建築物が建ち並んでおり、観光や景観のシンボルとして、それらを保全する必要があることや、地形的な要因により、大変難しいものと考えております。

また、新しい道路を造ることにつきましては、建物が密集している地区であるとともに、電车道などの他のルートもありますことから、計画はございません。

なお、成田祇園祭や成田太鼓祭などのイベント開催時や初詣のほか、5月や9月など多くの観光客が訪れる月の週末には、交通規制を行うとともに、各所に警備員を配置し表参道の安全対策に取り組んでいるところであります。

本市といたしましては、表参道の地域の特性を活かした良好な景観の形成を推進するとともに、今後も引き続き警察などの関係機関と連携を図りながら、観光客などの安全確保に努めてまいります。

○議長（神原穂乃香議員） 成田高等学校附属中学校、西塔議員。

〔成田高等学校附属中学校 西塔議員 自席で起立〕

○西塔吏玖議員 私は、成田高等学校附属中学校2年の西塔吏玖です。

ご答弁ありがとうございます。成田駅周辺の道路環境について、質問を続けます。

JR 成田駅西口には自転車通行帯がありますが、その道を通らずに歩道を猛スピードで通行し、歩行者にぶつかりそうになったのを見たことがあります。そこで、自転車通行帯を通行してもらえるよう、より徹底した市民への告知が必要であると考えておりますが、市の見解をお伺いできればと思います。

○議長（神原穂乃香議員） 加瀬林市民生活部長。

〔市民生活部長 加瀬林操 自席で起立〕

○市民生活部長（加瀬林操） 西塔吏玖議員の **JR** 成田駅西口付近の自転車通行帯についてのご質問にお答えいたします。

JR 成田駅西口から成田ニュータウンへ延びる道路には、車道の他に、歩道上にも自転車通行帯の表示を行っております。本来、自転車は車道を通行することがルールですが、自動車の交通量の多いこちらの歩道は、道路交通法により、自転車の通行も認められております。ただし、「歩行者が優先」、「自転車は車道寄りを徐行」することが原則となっております。

市が行った自転車通行帯の着色化は、この交通ルールをわかりやすく路面に標示したものであり、車道と歩道それぞれに自転車の通行場所と、歩道にはさらに徐行を促す表示を行っております。

自転車も通行可能な歩道は他にもあり、今後、同様の着色化を進める予定であります。が、まずは交通ルールの浸透を図ることが必要でありますので、自転車は車道を通行することが原則であること、歩道は歩行者優先であることなどを含め、「広報なりた」などによる周知、啓発活動を行い、歩行者と自転車利用者が安全で快適に過ごせる環境の実現を目指してまいります。

○議長（神原穂乃香議員） 成田高等学校附属中学校、西塔議員。

〔成田高等学校附属中学校 西塔議員 自席で起立〕

○西塔吏玖議員 ご答弁ありがとうございました。2つの質問に対するご答弁の中で、市が様々な面に配慮しながら成田市民の生活を豊かにするべく活動されている様子がわかりました。

将来私は、成田空港で働きたいと思っています。ご答弁にもあったように、伝統的建築物が立ち並ぶこの成田という地の、歴史や文化を大切にしながら発展していく気持ちを忘れずに、成田を訪れる観光客の方に接することができればよいと思います。また、年々増加する訪日外国人の方にも、この成田の魅力を知ってもらえるような仕事に携わりたいと思います。

これで成田高校附属中学校からの質問を終わります。

（午後 2 時 01 分）

●下総みどり学園

○議長（神原穂乃香議員） 次に、下総みどり学園、石井啓翔議員、並びに根本将希議員。

〔下総みどり学園 議員 2 名 登壇〕

○石井啓翔議員 私は、下総みどり学園 9 年の石井啓翔です。

下総地区の環境整備についてお伺いいたします。

私は普段から、登下校や日常生活で道路を利用しています。整備を丁寧にしていただいているため、使いやすい道が多く感謝しています。しかし、場所によっては、歩道に草が生い茂っていたり、枝が倒れてきていたりしているところもあり、自転車などで走っていると、顔などに当たったり、視界が悪くなったりするなど、危険を感じる場合があります。また、道に凹凸があるところもあります。

そこで、お伺いします。成田市では安全・安心なまちづくりを掲げていますが、道路環境の整備について、どのような対策をとっているのでしょうか。回答願います。

○議長（神原穂乃香議員） 小泉市長。

〔市長 小泉一成 登壇〕

○市長（小泉一成） 石井啓翔議員の道路環境の整備についてのご質問にお答えいたします。

まず、歩道や路肩の草刈りについてであります。市が管理する市道について、市内全域を 7 つの区域に分け、路肩草刈業務委託を発注し、120 路線、約 109 キロメートルについて、その内、下総地区につきましては、11 路線、約 12 キロメートルについて、年 2 回から 3 回の歩道及び路肩の草刈りや枝の伐採などを適宜行っております。

次に、道路の凹凸についてであります。路線ごとに舗装の劣化状況等を確認し、計画的に修繕工事を実施するとともに、通行に支障があり危険と思われる箇所につきましても、その状態を改善する為の補修を行っております。

さらに、本市の職員及び維持委託業者により、定期的に道路パトロールを実施し、安全で安心な道路環境の整備に努めております。

なお、国道及び県道につきましても、適切な道路環境が維持できるよう、国、県と情報の共有を図ってまいります。

○議長（神原穂乃香議員） 下総みどり学園、根本議員。

〔下総みどり学園、根本議員 自席で起立〕

○根本将希議員 私は、下総みどり学園 9 年の根本将希です。

ご答弁ありがとうございます。質問を続けます。

私は、成田市内の防犯と安全対策のために街灯の設置が必要だと考えています。なぜなら、成田市内には暗い道が多くあるため、事故や犯罪に遭う可能性が高くなると考えられるからです。そこで、市としてどのように考えているのかお答え願います。

○議長（神原穂乃香議員） 加瀬林市民生活部長。

〔市民生活部長 加瀬林操 自席で起立〕

○市民生活部長（加瀬林操） 根本将希議員の街灯の設置についてのご質問にお答えいたします。

成田市では、「犯罪防止のために道を照らす街灯」を「防犯灯」としています。

防犯灯には、市が管理しているものと区や自治会が管理しているものがあり、新たな防犯灯の設置にあたっては、各地域で実情が異なることから、地域で組織されている区や自治会等が主体となって、必要とする箇所に設置していただいております。市では、区や自治会に対して、要件を満たす場合に、設置費用と設置後に防犯灯を維持管理していくための費用の一部を補助することで、市内の防犯灯の整備を促進し、防犯と安全対策の向上を図っております。

○議長（神原穂乃香議員） 下総みどり学園、根本議員。

〔下総みどり学園、根本議員 自席で起立〕

○根本将希議員 ご答弁ありがとうございました。私は、この成田市を子どもからお年寄りまで市民一人ひとりが安全に暮らせる危険が少ない街にしていきたいです。それはとても大変なことだし、事故を無くそうとするととても難しいことだと思います。ですが、この成田市には、市民全員が安全に暮らせる街になってほしいです。また、安全

に過ごせるだけでなく、市全体が栄えてほしいです。東京オリンピックがあるので、成田空港が使われる機会が多くなると思います。ですので、日本全体を盛り上げるためにも、成田市全体が栄えることを望んでいます。

以上で、下総みどり学園の質問を終了します。

(午後 2 時 07 分)

●久住中学校

○議長（神原穂乃香議員） 次に、久住中学校、古山陸斗議員、並びに東條遥斗議員。

〔久住中学校 議員 2 名 登壇〕

○古山陸斗議員 私は、久住中学校 2 年の古山陸斗です。

成田市の教育施設、特に成田市に関する資料館や博物館についてお伺いいたします。

私は歴史が好きで、学校で習うこと以外にも、成田市の歴史も知りたいと思い、成田市に関する施設について調べました。すると、唯一知っていて、行ったことがある航空科学博物館は成田市の施設ではないことを知りました。また、成田市には下総歴史民俗資料館や三里塚御料牧場記念館があることがわかりましたが、今までそれらの施設について知りませんでした。さらに、三里塚御料牧場記念館については利用者数があまり多くないこともわかり、せっかくあるのにもったいないと感じました。

以上から、成田市内にある資料館や博物館について、団体利用してもらうための告知やイベントなどを行って、利用者数の増加を図ることで、たくさんの人に成田市の歴史や文化について知ってもらう機会が増えれば良いと考えています。現在成田市では、資料館や博物館の利用者数を増加させることについて、どのような対策をとっているのかお答え願います。

○議長（神原穂乃香議員） 関川教育長。

〔教育長 関川義雄 登壇〕

○教育長（関川義雄） 古山陸斗議員の資料館・博物館の利用者数増加への取り組みについてのご質問に、お答えいたします。

まず、本市の歴史等に関する資料を展示している施設として、三里塚御料牧場記念館と下総歴史民俗資料館があります。

三里塚御料牧場記念館は、昭和 44 年に成田空港建設に伴い閉場した宮内庁下総御料牧場の名を、長くこの地にとどめるため、昭和 56 年に開館しました。館内には、当時の写真の他、実際に使われていた牧畜に関する器具、農耕具などを展示しております。

展示品については、館内での通常の展示の他に、下総御料牧場の 歴史を再認識していただくことを目的に、不定期ではありますが、企画展を開催しております。一昨年は、文化芸術センターにおいて「下総御料牧場の記憶」と題した企画展を開催し、当時の牧場の日常を撮影した写真を展示しました。この企画展では、三里塚の地が、牧場の存在によって、現在とは全く違う姿であったことが評判を呼び、各種メディアに取り上げられる機会が増えたことから、例年の来館者数 約 3,000 人から、3,500 人への増加に繋がったものと捉えております。

また、下総歴史民俗資料館は、平成 7 年に、旧下総町の町制 40 周年記念事業として開館しました。館内には、市内で使われていた農機具、家具、食器等の民俗資料や、市内で発掘された土器、石器等の埋蔵文化財資料を展示しております。

資料館においても通常の展示の他に、企画展を毎年開催しており、最近では、下総地区の統合前の 4 つの小学校の資料を展示した「下総地区 4 小学校のあゆみ展」、市の指定文化財であるムササビ型埴輪をはじめとした「埴輪の世界展」、市の無形民俗文化財の伊能歌舞伎の歴史を紹介した「伊能歌舞伎展」、市内出土の縄文土器を紹介した「縄文時代展」などの企画展を開催し、多くの来館者から好評を得たところであります。

また、小学生の校外学習の場としても例年数校が団体で訪れ、本市の歴史等について学んでおります。

こうしたことから、今後も三里塚御料牧場記念館や下総歴史民俗資料館の収蔵資料を活用した企画展などを計画し、多くの方に本市の歴史や文化を知っていただく機会を設けることや、子供たちの学習の場として使用していただけるよう、周知に努めるとともに、市の広報紙、ホームページをはじめ、タウン誌やベイエフエムにおける成田市の広

報番組を活用して、市外の方にも各施設を利用させていただくよう努めてまいります。

○議長（神原穂乃香議員） 久住中学校、東條議員。

〔久住中学校 東條議員 自席で起立〕

○東條遥斗議員 私は、久住中学校 3 年の東條遥斗です。

ご答弁ありがとうございます。質問を続けます。

成田市には、成田山新勝寺や成田空港など、誇るべきところが多くあります。成田山靈光館では成田山の歴史などを知ることができますが、その一方で成田空港について知ることができる場所は成田にはありません。

私は今後の成田市には、成田市の歴史や文化などを体系的に知ることができるような博物館があれば、利用する人も多くなると思い、また、必要であると考えております。このことについて、市としてどのようにお考えか、お答え願います。

○議長（神原穂乃香議員） 神山教育部長。

〔教育部長 神山金男 自席で起立〕

○教育部長（神山金男） 東條遥斗議員の成田市の歴史や文化を知る博物館についてのご質問にお答えいたします。

先ほど教育長の答弁にもございましたように、下総歴史民俗資料館では、様々な収蔵資料を活用して、本市の歴史、文化等に関する資料を常設し、その他にも、テーマをもった企画展を開催しているところであります。

本年度につきましても、「故郷（ふるさと）の宝物」というタイトルで、江戸時代に法要などで使用していた掛け軸など、未公開の資料を含む指定文化財についての企画展を開催いたします。今後につきましても、下総歴史民俗資料館の他、文化芸術センターや他の施設等を活用した企画展を計画するなどして、市民の皆様に成田市の歴史、文化への理解を深めていただけるよう、取り組んでまいります。

また、成田空港を知ることができる博物館につきましては、芝山町の航空科学博物館の敷地内に、地域と空港をめぐる歴史を、当時の貴重な資料や映像で見ることができる「成田空港空と大地の歴史館」が、平成 23 年 6 月に開館しておりますので、ご利用く

ださい。

○議長（神原穂乃香議員） 久住中学校、東條議員。

〔久住中学校 東條議員 自席で起立〕

○東條遥斗議員 ご答弁ありがとうございました。

第2質問とは関連しないのですが、成田市は自然豊かであり、そして空港があります。空港があれば、多くの観光客と交流ができ、そしてその人達が、成田市の良いところを広く発信していただける、とても素晴らしい市だと思いました。

これで、久住中学校からの質問を終わります。

（午後 2時17分）

●遠山中学校

○議長（神原穂乃香議員） 次に、遠山中学校、花里海喜議員、並びに迫田莉空議員。

〔遠山中学校 議員2名 登壇〕

○花里海喜議員 私は、遠山中学校3年の花里海喜です。

今年4月にオープンした「中郷ふるさと交流館」の有効活用について伺いいたします。

私は「中郷ふるさと交流館」がオープンしたことは、とても良いことだと思います。

私自身も身体を動かすことが好きなので、運動施設を残したうえで地域における新たな施設ができたということは嬉しいことですし、地域の方や市民に様々な形で活用されると良いと思います。

そこでお伺いいたします。「中郷ふるさと交流館」ができたことによるメリットや、具体的にどのように活用されているのかについて、お答え願います。

○議長（神原穂乃香議員） 小泉市長。

〔市長 小泉一成 登壇〕

○市長（小泉一成） 花里海喜議員の中郷ふるさと交流館についてのご質問にお答えいたします。

中郷地区は、中郷小学校の閉校によって、一時期小中学校のない地区となっておりましたが、本年４月の中郷ふるさと交流館の開館によって、地域の新しい拠点が生じました。気軽に交流できるスペースや、地域の歴史を紹介する資料展示室のほか、従来からの運動場や体育館を併せて、中郷地区の皆様をはじめ、広く市民の方にお使いいただける施設となりました。

具体的な活用状況についてですが、現在、集会施設の部分は、中郷地区の方々による会議などでの使用が多く、運動場や体育館は、主に市内のスポーツ団体に使用していただいている状況です。今後も引き続き、皆様の声に耳を傾け、愛され親しまれるコミュニティと健康増進の拠点として、一層使いやすい施設となるよう、めざしてまいります。また、地元の皆様にご協力いただきながら、小さいお子さんから高齢の方に至るまで、楽しく参加していただける講座や教室なども実施して、より多くの方に活用していただけるよう、努めてまいります。

○議長（神原穂乃香議員） 遠山中学校、迫田議員。

〔遠山中学校 迫田議員 自席で起立〕

○迫田莉空議員 私は、遠山中学校２年の迫田莉空です。

ご答弁ありがとうございます。質問を続けます。

旧中郷小学校の跡地に「中郷ふるさと交流館」がオープンしましたが、中郷小学校が閉校になった理由は、小学校の周りに人が少なく、小学校に通う児童が少なくなったためだと考えます。そこで、人口が減っているこの地域で、どのようにして地域コミュニティの醸成を図るべきとお考えか、お答え願います。

○議長（神原穂乃香議員） 加瀬林市民生活部長。

〔市民生活部長 加瀬林操 自席で起立〕

○市民生活部長（加瀬林操） 迫田莉空議員の地域コミュニティの醸成についてのご質問にお答えいたします。

中郷地区は、全体の人口としては少ないものの、地域の方々同士のきずなが強く、長く続いてきた行事にも熱心で、盆踊り大会や敬老会、駅伝をはじめとする各種スポーツ

大会など、地区を挙げてのさまざまな活動が行われております。本市といたしましても、オープンした中郷ふるさと交流館を有効に活用していただくことによって、地域の皆様の交流が一層盛んになっていくのを望んでいます。

そして、中郷のほか成田市全域においても、住民の方々のつながりがより強いものとなるよう、皆様との対話を重ねて、それぞれの地域にふさわしい 地域コミュニティ醸成の支援をしてまいりたいと考えております。

○議長（神原穂乃香議員） 遠山中学校、迫田議員。

〔遠山中学校 迫田議員 自席で起立〕

○迫田莉空議員 ご答弁ありがとうございました。

私は、小学生の時に成田市ではないところから引っ越してきたので、あまり成田市のことについて詳しくありません。ですが、この議会を通して成田市の取り組み方や政策を良く知ることができました。

私は、地域コミュニティの醸成はとても重要なことだと思います。醸成を図ることで、住みやすく、働きやすく、訪れやすい成田市をつくることができると思います。学校の代表として意見を出し合って成田市を今より素晴らしいまちにすることができることを大変誇りに思っています。ありがとうございました。

これで、遠山中学校からの質問を終わります。

（午後 2 時 23 分）

○議長（神原穂乃香議員） ここで、暫時、休憩いたします。

私、神原穂乃香による議事進行はここまでとなります。皆さん、ご協力ありがとうございました。

（午後 2 時 24 分）

【休 憩】

◎再開および議長の交代

〔開始のブザー〕

○事務局（市民協働課長） 再開にあたり、議長の交代があります。後半の議長は、久住中学校、坂本莉奈議員にお願いいたします。

○議長（坂本莉奈議員） 申し上げます。これより、成田市中学生議会の議長を務めます、久住中学校 2 年の坂本莉奈です。議長就任に当たりごあいさつを申し上げます。中学生議員の皆様のご推挙により、議長に選任いただきまして、誠にありがとうございます。議長という大役を務めさせていただいてとても緊張していますが、スムーズな議事の進行を図っていきたいと思いますので、皆様のご協力をお願いします。

（午後 2 時 41 分）

◎議長の交代

○議長（坂本莉奈議員） 再開いたします。代表質問を続けます。

●吾妻中学校

○議長（坂本莉奈議員） 吾妻中学校、川越咲菜議員、並びに長尾朋樹議員。

〔吾妻中学校 議員 2 名 登壇〕

○川越咲菜議員 私は、吾妻中学校 2 年の川越咲菜です。

成田市周辺地域の航空機による騒音への対策についてお伺いします。

空港周辺の騒音対策について私が気になったのが、今年の 10 月 27 日から A 滑走路の

運用時間について夜間の飛行時間を深夜 0 時までと 1 時間延長することが決定したことです。成田空港が開港された当初から守られてきた時間帯である朝の 6 時から 23 時までの運用時間について、なぜこのタイミングで変更になったのでしょうか。また、1 時間の延長による近隣住民への騒音被害の影響も気になります。どのような対策を考えているのか、お答え願います。

○議長（坂本莉奈議員） 小泉市長。

〔市長 小泉一成 登壇〕

○市長（小泉一成） 川越咲菜議員の、成田空港 A 滑走路の運用時間変更及び騒音対策についてのご質問に、お答えいたします。

まず、成田空港における夜間運用時間の変更につきましては、年間発着容量を、現在の 30 万回から 50 万回まで拡大する、成田空港の更なる機能強化策の一環として、空港会社より提案されたものであります。

成田空港の更なる機能強化は、新たに 3 本目の C 滑走路を増設するとともに、B 滑走路を北側に延ばし、更に夜間の航空機の飛ぶ時間帯を拡大しようとするものであり、この中で、日本を訪れる外国人の増加に対応することや、激化する空港間競争に勝ち抜いていくなどの理由から、2020 年東京オリンピック・パラリンピックの開催に間に合うよう、夜間運用時間の変更を、A 滑走路で先行的に実施したいとの提案がなされました。

この成田空港の更なる機能強化は、空港周辺地域に更なる発展をもたらす一方で、騒音地域住民の生活環境に多大な影響をもたらすことから、本市では、平成 28 年 9 月から昨年 3 月までに、78 回の説明会を開催し、延べ 2,600 名を超える方々にご参加いただきました。説明会で寄せられた切実なご意見を踏まえ、夜間における運用時間の見直しや、移転対象区域の拡大、さらには、これまでの防音工事の施工内容の改善や、新たに内窓設置工事を実施することなど、様々な対策が行われることとなったことから、国、千葉県、空港周辺 9 市町及び成田空港会社により組織される「成田空港に関する四者協議会」では、更なる機能強化の実施について合意し、その後、A 滑走路における夜間運用時間の変更は、冬ダイヤの開始日である本年 10 月 27 日から実施されることが決まり

ました。

次に、A 滑走路の運用時間変更に伴う騒音対策についてであります。現在、空港会社では、法律に基づく移転補償や、防音工事助成などの対策を実施しております。

A 滑走路側では、今後の夜間運用時間の変更を踏まえ、昨年 10 月から、新たに防音工事を行う際や、建て替えの際に、防音サッシにペアガラスを認めることなど、防音工事の施工内容の改善が図られております。また、四者協議会の確認書では、延長される 23 時台に運航する航空機を、低騒音型の航空機に限定すること、住宅の寝室への内窓設置工事を実施すること、夜間運用時間の変更に伴い、健康影響調査を含む、生活環境への影響調査を実施することが示されており、このうち A 滑走路側の内窓設置工事につきましては、昨年 10 月より事業が開始されております。

成田空港は大規模な内陸空港であり、騒音・環境対策は避けて通ることができないことから、本市といたしましても、国、県、空港会社、関係市町と連携して、今後も適切かつ確実に対策を実施してまいります。

○議長（坂本莉奈議員） 吾妻中学校、長尾議員。

〔吾妻中学校 長尾議員 自席で起立〕

○長尾朋樹議員 私は、吾妻中学校 2 年の長尾朋樹です。

現在計画が進んでいる成田空港の更なる機能強化について質問させていただきます。

B 滑走路を 3,500m に延伸して活用するにあたり、先ほどと同様に近隣住民への配慮が必要になってくると思いますが、近隣住民の方々にはどのような説明をすることを考えているのでしょうか。また、既に具体的に取り組んでいる事項がありましたらお聞かせください。

○議長（坂本莉奈議員） 森田空港部長。

〔空港部長 森田巖 自席で起立〕

○空港部長（森田巖） 長尾朋樹議員の、B 滑走路の延伸による近隣住民への配慮として、説明や具体的な騒音対策についてのご質問にお答えいたします。

まず、近隣住民の方々への説明についてであります。B 滑走路の延伸や航空機の発

着回数の増加などにより、航空機による騒音の影響範囲が大きくなるため、騒音の対策範囲が拡大されるとともに、新たな対策が実施されることから、関係する方々に対して、改めて説明する必要があるものと考えております。

次に、B 滑走路の延伸に伴う具体的な騒音対策についてであります。防音工事の施工内容の改善や内窓設置工事の実施により、静穏な室内環境を維持するとともに、延長される深夜早朝時間帯における 航空機は、空港会社の示した低騒音機に限定することとなっております。

本市といたしましては、こうした対策を通じて、騒音地域にお住まいの方々の生活環境の保全に努めてまいりたいと考えております。

○議長（坂本莉奈議員） 吾妻中学校、長尾議員。

〔吾妻中学校 長尾議員 自席で起立〕

○長尾朋樹議員 ご回答ありがとうございました。

私の将来の夢は、空港内のスタッフや飛行機を操縦するパイロットなどに興味があります。今は詳しく決めていませんが、空港関係の職業に就きたいです。私は成田で生まれて成田で育ちました。だから、身近に空港があり、自然に飛行機や空港を好きになりました。だから、私は将来、空港関係の職業に就いて、空港で海外の方をお迎えしたり、日本の方をお見送りしたりと、成田市のために活躍していきたいです。

これで、吾妻中学校からの質問を終わります。

（午後 2 時 50 分）

●成田中学校

○議長（坂本莉奈議員） 次に、成田中学校、若林慧議員、並びに加藤碧羽議員。

〔成田中学校 議員 2 名 登壇〕

○若林慧議員 私は、成田中学校 3 年の若林慧です。

成田市が行っている、交通安全に関する対策についてお伺いします。

私は普段、自宅から学校まで自転車で通学しています。その際いつも感じることがあ

ります。それは、信号や交差点、参道などでの自転車の乗り方についてです。学校からは「交通ルールを守り、安全に登下校しましょう」と声をかけられます。しかし、すべてのルールを知っているわけではありませんし、それを学ぶ機会もなかなかありませんでした。そして、中学生の登下校中の自転車による事故がなかなか「0」にならず、誰もが加害者にも被害者にもなり得るとというのが現状であると思います。

そこでお伺いいたします。現在の交通安全に関する状況を踏まえて、成田市では小中学生に対してどのような交通安全対策をしているかお答え願います。

○議長（坂本莉奈議員） 小泉市長。

〔市長 小泉一成 登壇〕

○市長（小泉一成） 若林慧議員の小中学生の交通安全対策についてのご質問にお答えいたします。

まず、市では、パンフレットや交通安全をうたった文房具などを配布して、交通安全への意識向上を図っております。また、皆さんが通っているそれぞれの学校では、登下校時の見守りや、成田警察署に依頼して、交通安全教室を実施しております。

小学校では、警察官が各学校を訪れ、小学 1・2 年生には横断歩道の渡り方を、小学 3 年生から 6 年生には自転車の乗り方を、模擬信号機などを使用して指導しております。

中学校では、1 年生を対象として、入学後に自転車の乗り方について指導したり、道徳の時間等を活用して、交通ルールやマナーを守る大切さを学ぶ授業を行ったりしております。また、自転車通学者の生徒については、登下校時には必ずヘルメットを着用するように、義務づけております。

なお、自転車の乗り方を含めた交通ルールにつきましては、市のホームページや広報なりたなどを活用して、広報・啓発活動を行っております。

また、通学路において、学校や PTA から改善要望のあった箇所については、「通学路交通安全プログラム」に基づき、教育委員会、警察署などの関係機関と合同で、道路施設の改善を目的とした点検などを実施しております。

今後も、関係機関と連携した交通事故防止に努めてまいります。

○議長（坂本莉奈議員） 成田中学校、加藤議員。

〔成田中学校 加藤議員 自席で起立〕

○加藤碧羽議員 私は、成田中学校 2 年の加藤碧羽です。

ご答弁ありがとうございます。質問を続けます。

私は、今後、交通安全について学ぶことのできる機会をさらに増やしていくことで、交通事故が「0」に近づいていくのではと考えています。そこで、交通安全について学ぶことのできる施設を造ってみてはと要望いたしますが、市としての考えをお答え願います。

○議長（坂本莉奈議員） 加瀬林市民生活部長。

〔市民生活部長 加瀬林操 自席で起立〕

○市民生活部長（加瀬林操） 加藤碧羽議員の交通安全を学ぶ機会や施設についてのご質問にお答えいたします。

交通安全について学習できる施設は、警察や運転免許センターが設置している事例や、自治体が交通公園を整備している事例などがあります。

現在、交通ルールを学べる公園を整備する計画はありませんが、いただいたご要望を警察などの関係機関と共有するとともに、交通安全を学ぶ機会の増進に努めてまいります。

○議長（坂本莉奈議員） 成田中学校、加藤議員。

〔成田中学校 加藤議員 自席で起立〕

○栗原悠斗議員 ご答弁ありがとうございます。成田市民一人ひとりが安心して日常生活を送れるよう、どのような活動をしているのか改めて理解できました。私は、成田がとても好きなので、もっと成田市を知れるよういろいろな活動に協力していきたいと思っています。

これで、成田中学校からの質問を終わりにします。

（午後 2 時 56 分）

●公津の杜中学校

○議長（坂本莉奈議員） 次に、公津の杜中学校、田中緋織議員、並びに田中文菜議員。

〔公津の杜中学校 議員 2 名 登壇〕

○田中緋織議員 私は、公津の杜中学校 2 年の田中緋織です。

成田市が行っている国際医療福祉大学と市内の小中学校との交流・連携について伺います。

私は、公津の杜小学校出身なのですが、小学生がキャンパス内を見学させていただいていることを聞きました。また、小学生のときにボランティア活動などで大学生の方と交流させていただきました。私の視点としては、小中学生と大学生が交流することで、お互いに視野が広がり、私たちにとってよい勉強になると思っています。

そこで、伺いたいします。現在成田市では、市内の小中学校と国際医療福祉大学との交流・連携についてどのようなことをしているのかお答え願います。以上で質問を終わります。

○議長（坂本莉奈議員） 関川教育長。

〔教育長 関川義雄 登壇〕

○教育長（関川義雄） 田中緋織議員の、国際医療福祉大学と市内小中学校との交流・連携についてのご質問にお答えいたします。

まず、小学校との連携についてですが、小学校の生活科の学習の中には、自分たちの住む地域の良さを発見し、紹介しあう活動があり、国際医療福祉大学の近隣の小学校においては、大学を訪れ、構内で働いている方へのインタビューや施設の見学を行っています。

また、放課後に子どもたちが安心して過ごせる居場所作りを目的に、市内 8 校で開催している「放課後子ども教室」では、本年度から始まった公津小学校において、国際医療福祉大学の学生に、ボランティアスタッフとして協力をいただいておりますが、今後も他校の「放課後子ども教室」において、協力していただけるよう大学側と協議してまいります。

市内の中学校との連携につきましては、キャリア教育の一環として、直接働く人と接することにより、働くことの意義を理解し、生きることの尊さを実感させることをねらいとして、多くの企業や公共施設などにおいて職場体験を実施しており、国際医療福祉大学にもご協力をいただいております。

一方、国際医療福祉大学の看護学部の学習課程の中には、学校現場での実習が取り入れられていることから、本市の小中学校が協力して学生を受け入れ、交流を図っております。生徒の中には、学生との関わりを通して、看護に係る職業について興味を持つことができたなどの感想も寄せられており、本年度も同様の実習を受け入れる予定であります。

教育委員会といたしましては、今後も市内の小中学校と国際医療福祉大学との連携を推進し、交流を深めることによって、児童生徒と大学生の双方が共に学び、成長できるよう取り組んでまいります。

○議長（坂本莉奈議員） 公津の杜中学校、田中文菜議員。

〔公津の杜中学校 田中文菜議員 自席で起立〕

○田中文菜議員 私は、公津の杜中学校 2 年の田中文菜です。

ご答弁ありがとうございます。質問を続けます。

先程、小中学校と国際医療福祉大学との連携について伺いましたが、成田市としては、どのようなことを行っているのでしょうか。

公津の杜中学校では昨年度、国際医療福祉大学の学生の実習が行われました。その際、私は、成田市の行う事業でも国際医療福祉大学に協力してもらえることがあるのではないかと思います。

そこで、現在成田市と国際医療福祉大学の連携はどのようなことが行われているのか、また、今後成田市と国際医療福祉大学との連携は増えていくのか伺いたいと思います。

○議長（坂本莉奈議員） 郡司企画政策部長。

〔企画政策部長 郡司光貴 自席で起立〕

○企画政策部長（郡司光貴） 田中文菜議員の国際医療福祉大学と成田市との連携につ

いてのご質問にお答えいたします。

まず、現在の連携の状況についてでございますが、国際医療福祉大学の学生及び教職員の方々には、市が行う保健、医療、福祉や観光、スポーツ、生涯学習など、様々な分野の事業にご協力をいただいております、昨年度の連携事業数は32事業に上っております。

先ほど教育長が答弁申し上げました小中学校における連携事業の他に、公立保育園では、インフルエンザなどの感染症の予防を目的として、国際医療福祉大学の学生が園児向けにわかりやすく手洗いの方法などを教える手洗い講習の実施や、就業技術援助事業として、子育てや介護などの事情により現場を離れていた看護師資格をお持ちの方を対象として、職場復帰に必要な知識を取得するための講習会などを開催していただいております。

次に、今後の連携事業についてでございますが、実施に向け協議・検討を続けている事業もあり、さらに、令和2年春の附属病院の開院後には新たな連携事業の可能性も広がってまいります。

市といたしましては、市と大学、それぞれが持っている人的資源、物的資源、知的資源を相互に活用しながら、お互いのさらなる発展のため、交流・連携を一層進めていきたいと考えております。

○議長（坂本莉奈議員） 公津の杜中学校、田中文菜議員。

〔公津の杜中学校 田中文菜議員 自席で起立〕

○田中文菜議員 ご答弁ありがとうございました。小中学校と国際医療福祉大学との連家について、様々なことが行われていることを改めて知りました。また、市内の小学校だけでなく、私たちの学校でも大学との交流やキャンパス内、大学生活を見学することにより、将来に役立てられ、また、大学生にも違った視点を広げることで、お互いに良い経験になれると良いと思いました。

これで、公津の杜中学校からの質問を終わります。

（午後 3時05分）

●大栄中学校

○議長（坂本莉奈議員） 次に、大栄中学校、椎名遥香議員、並びに野澤彩佳議員。

〔大栄中学校 議員 2 名 登壇〕

○椎名遥香議員 私は、大栄中学校 3 年の椎名遥香です。

大栄地区の自習室の充実・増設について、お伺いします。

大栄地区は交通の便もあまりよくなく、学校の外で勉強ができる場所は自宅しかありません。なかには塾に通う人もいますが、全員ではありません。勉強する環境が整っていることは、大栄地区の児童・生徒にとって大きな強みになると思います。また、家の近くに落ち着いて学習できる施設が充実すれば、学力の向上も期待できるのではないかと思います。

そこで、お伺いします。大栄地区の自習室の充実について、成田市ではどのようにお考えでしょうか。

○議長（坂本莉奈議員） 関川教育長。

〔教育長 関川義雄 登壇〕

○教育長（関川義雄） 椎名遥香議員の大栄地区の自習室の充実・増設についてのご質問にお答えいたします。

まず、大栄地区において学校の外で学習できる場所につきましては、大栄中学校の近くにあります大栄公民館の 2 階に学習室を設け、最大 24 人の方に学習していただける部屋を用意しております。また、席がすべて利用されている場合には、利用の予約が入っていない、空いている部屋を学習スペースとして開放しており、公民館の開館時間中は利用していただくことができます。

なお、現在、大栄公民館では空調設備の改修工事を行っていることから、9 月末までは、プラザホール、楽屋以外の部屋はご利用いただけませんが、ロビーやプラザホールのホワイエを開放し、学習の場としてもご利用いただけるよう配慮しておりますので、ご活用いただきたいと思います。

○議長（坂本莉奈議員） 大栄中学校、野澤議員。

〔大栄中学校 野澤議員 自席で起立〕

○野澤彩佳議員 私は、大栄中学校 3 年の野澤彩佳です。

ご答弁ありがとうございます。質問を続けます。

昨年度の中学生議会では、本校の中学生議員が閉校となる 5 つの小学校の有効活用についてお尋ねしましたが、私は、この利活用にあたり、自習室や図書室を設置してはどうかと考えました。小学校の利活用まではある程度の期間が必要であるとの回答をいただきましたが、1 年が経った今、協議等はどの程度進んでいるのか、また自習室や図書室を設置することについてどのようにお考えか、お答えをお願いします。

○議長（坂本莉奈議員） 郡司企画政策部長。

〔企画政策部長 郡司光貴 自席で起立〕

○企画政策部長（郡司光貴） 野澤彩佳議員の閉校となる小学校を自習室として活用することについてのご質問にお答えいたします。

大栄地区における閉校となる小学校の跡地利活用の検討状況でございますが、現在、建物や土地の状況、地域特性など基本的な情報を整理するとともに、全市的な行政需要に対する有効活用策について調査を進めているところでございます。

また、この調査の結果を踏まえ、庁内に組織しました学校跡地利用検討委員会において、「学校跡地利用基本方針」に基づき、本市の行政需要、地域の皆様のご意向やご要望、民間事業者の活用等を総合的に勘案しながら、学校跡地の利活用の方針を検討してまいりたいと考えておりますので、議員よりいただきましたご提案につきましては、貴重なご意見として参考とさせていただきます。

○議長（坂本莉奈議員） 大栄中学校、野澤議員。

〔大栄中学校 野澤議員 自席で起立〕

○野澤彩佳議員 ご答弁ありがとうございます。私たちの母校である 5 つの小学校の廃校後の利活用については、昨年から考えていました。ですので、今回、市の協力を受けて、学習室として活用できればとても嬉しく思います。他の児童・生徒も、母校であれば親しみを持ってたくさん利用してくれると思います。

今回の議会を通して、大栄地区で生活する私たちは、何をすることができるのか、何をすればみんなが喜んでくれるのかを考える機会を持つことができ、とても勉強になりました。

私の将来の夢は、医療系の仕事に就くことです。人の役に立つことをしたいと考えています。今回の経験をこれからに生かして、将来周りの人に何ができるのか、自ら考え行動できる人になれるよう頑張ります。ありがとうございました。

これで、大栄中学校からの質問を終わりにします。

(午後 3 時 11 分)

●西中学校

○議長（坂本莉奈議員） 次に、西中学校、小川愛叶議員、並びに浪川知恩議員。

〔西中学校 議員 2 名 登壇〕

○小川愛叶議員 私は、西中学校 3 年の小川愛叶です。

成田市の東京オリンピック・パラリンピックに向けての政策についてお伺いいたします。

東京オリンピック・パラリンピックでは、たくさんの人々が観戦に来ると予想されます。また、成田市には主に国際線を取り扱っている成田空港があるため、オリンピックの開催に伴い外国人観光客が増加すると私は思っています。

そこでお伺いいたします。外国人観光客の方の中には英語以外を話す国の方もいらっしゃると思いますが、成田市では多言語での外国人観光客への対応についてどのような取り組みを考えているのか、お答え願います。

○議長（坂本莉奈議員） 小泉市長。

〔市長 小泉一成 登壇〕

○市長（小泉一成） 小川愛叶議員の外国人観光客の増加に向けた多言語対応についてのご質問にお答えいたします。

本市は成田空港や成田山新勝寺、宗吾霊堂など多くの観光資源を有し、年間一千万人

を超える観光客を迎えており、2020 年東京オリンピック・パラリンピックでは、出場する選手や関係者のみならず、観客も含め国内外からさらに多くの来成者が見込まれます。

本市ではこれを絶好の機会と捉え、来成者が滞在期間中、安全安心で快適に観光を楽しんでいただくことが、リピーターの獲得にも繋がることから、魅力ある観光情報の発信と受け入れ環境の整備を図ることが、大変重要であると認識しております。

昨年度の成田市内の外国人宿泊者数は約 200 万人で年々増加しており、このうち約 68%がアジア圏からの訪日客となっていることから、本市では、成田市観光協会のホームページ「FEEL 成田」や多言語観光・災害情報配信アプリにおいて、日本語、英語、韓国語、中国語簡体字、中国語繁体字、タイ語の 5 か国 6 言語で、観光と災害情報の提供を行っているほか、本市の観光パンフレットにつきましても、同様に 5 か国 6 言語に対応しており、成田観光館や空港周辺のホテルなど市内各所で配布しております。

また、成田市観光案内所や成田観光館では、英語での案内が可能な職員が常駐しているほか、英語以外の言語については、翻訳アプリを使用して対応するとともに、JR 成田駅前、京成成田駅前、成田観光館など表参道を中心とした 8 か所に、英語や中国語など 5 言語を併記した案内看板を設置しており、本年度は、ピクトグラムを用いた表記や、文字を大きくするなど、よりわかりやすい案内表示とするため、案内看板の改修を予定しております。

このほか、成田空港の乗り継ぎ客や周辺ホテル宿泊者を対象に、空港周辺をボランティアガイドが案内する「成田空港トランジット&ステイプログラム」では、すべてのガイドが英語による案内を行っているとともに、中国語、韓国語、スペイン語などでの対応も行っております。

また、成田山新勝寺などで活動する「成田ボランティアガイドの会」でも、英語のほか、スペイン語での対応も可能であり、国内外から訪れる観光客に、おもてなしの心で成田の魅力を発信していただいております。

さらに、2020 年東京オリンピック・パラリンピックに向けては、千葉県内 5 つのエリアに「都市ボランティア」の配置を予定しており、うち成田市内エリアでは、JR・京

成田駅などで約 300 人の方々が英語などで観光案内や交通案内などを行っていただくなど、成田の魅力を様々な外国人観光客に伝えられるよう、引き続き多言語による対応に努めてまいります。

また、市内ホテルや旅館などにおける、客室等への手すりの設置や段差の解消など、バリアフリー化を推進するため、本年 7 月に県内初となる、国の補助制度と合わせて活用することが可能な、「成田市宿泊施設バリアフリー化改修補助金」を創設し、障がいのある方や高齢の方にも快適に過ごしていただけるよう、受け入れ環境の整備にも取り組んでいるところであります。

○議長（坂本莉奈議員） 西中学校、浪川議員。

〔西中学校 浪川議員 自席で起立〕

○浪川知恩議員 私は、西中学校 3 年の浪川知恩です。

ご答弁ありがとうございます。質問を続けます。

東京オリンピック・パラリンピックに向けての宿泊先についての質問です。オリンピック関係者や選手の方、観戦する多くの外国人観光客も成田市で宿泊することが考えられます。

そこで、東京オリンピック・パラリンピック開催時において成田市の宿泊施設の客室数は足りるのか、設備や使い方、マナーなどは外国の方にもわかるようになっているのか、お答え願います。

○議長（坂本莉奈議員） 清水シティプロモーション部長。

〔シティプロモーション部長 清水活次 自席で起立〕

○シティプロモーション部長（清水活次） 浪川知恩議員の外国人観光客の増加に向けた宿泊施設の受け入れ環境についてのご質問にお答えいたします。

本市には、JR 成田駅、京成成田駅周辺や空港周辺地域にホテルや旅館などがあり、客室数は約 9,000 室ございます。ここ数年にも新たな宿泊施設が建設されており、客室数も年々増加傾向にございます。

先日新聞報道では、大会関係者の宿泊のために、東京都心のホテルでは予約が困難

な状況であるとの報道もございましたが、市内ホテルに確認したところ、現時点で 2020 年東京オリンピック・パラリンピック期間中の予約状況にはまだ余裕があるとのことでございます。

次に、外国人に向けたホテル・旅館などでの設備の使い方や、マナーの周知についてありますが、客室内のトイレや浴室などの設備の使い方につきましては、洗面所内に多言語での表記を行っているほか、館内の案内についても多言語による表記やピクトグラムを用いてわかりやすい表記に努めているとのことでございます。

さらに、お客様からの個別の問い合わせに対して英語での対応を行っているほか、その他の言語につきましても翻訳機を用いて対応するなど、各国の言語で説明を行うための取り組みが行われております。

○議長（坂本莉奈議員） 西中学校、浪川議員。

〔西中学校 浪川議員 自席で起立〕

○浪川知恩議員 ご答弁ありがとうございました。成田市は多くの外国の方が日本で初めて訪れる場所であり、在日の方もおおく住んでいます。そこで成田市は、英語に力を入れているのだと思います。

私は将来、日本だけでなく外国でも活動できるパフォーマーになりたいと考えています。成田で学んだことを世界で生かして、成田から発信できるパフォーマーになりたいと思います。

これで、西中学校からの質問を終わります。

（午後 3 時 21 分）

●中台中学校

○議長（坂本莉奈議員） 次に、中台中学校、大友日葵議員、並びに大須賀光議員。

〔中台中学校 議員 2 名 登壇〕

○大友日葵議員 私は、中台中学校 2 年の大友日葵です。

成田市の乳幼児の保育施設について伺いいたします。

私の住んでいる町内では、子どもたちが減少していると感じていましたが、社会問題として取り上げられている待機児童問題について、疑問を持ちました。調べてみると、待機児童の定義として、待機児童にカウントしなくとも良いとされるケースがあり、隠れ待機児童も存在することに驚きました。今年の6月1日時点での成田市の公立保育所や私立保育所の待機児童数は約90人おり、その中でも1歳児の待機児童数が50人と、全体の半分以上いることがわかりました。なぜ1歳児が多いのか自分なりに考えたところ、親が職場復帰を希望する時期と重なるのではないかと考えました。

そこで、伺いたいします。現在成田市では、乳幼児の保育施設の確保について、どのようにお考えでしょうか。お答え願います。

○議長（坂本莉奈議員） 小泉市長。

〔市長 小泉一成 登壇〕

○市長（小泉一成） 大友日葵議員の乳幼児の保育施設についてのご質問にお答えいたします。

保育施設の確保についてであります。本市では、「成田市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、地域の保育需要などを踏まえ、施設整備や各種事業の実施により教育、保育の量の拡大や質の向上を図ることで、地域の実情に応じた待機児童対策を実施しております。平成27年度以降は、認可保育園や認定こども園、0～2歳児を対象とした地域型 保育事業所の新設及び公立保育園の大規模改修工事に伴う定員増により、保育の受け皿拡大を図ってまいりました。

本年8月1日現在におきましては、保育園の入所を待っている児童は142人で、そのうち1歳児が62人です。

これは、議員がおっしゃるように、0～1歳のお子さんを預けて働き始めるお母さんが増えていることなどによるものと考えております。

国が示している「子育て安心プラン」では、2020年度末までに女性就業率80%に対応できる保育の受け皿を整備し、待機児童を解消することとしています。

本市におきましても、国の「子育て安心プラン」を受けて、待機児童対策を市の最重

要課題として捉え、本年度は、待機児童が多く発生している地域に認可保育園を新設する事業者に対し、整備費の補助を行います。

また、保育の受け皿の拡大とともに、保育士を確保することも重要であることから、私立保育園などに勤務する保育士の給与の上乗せ補助、いわゆる「なりた手当」を支給し、保育士の処遇改善を行うなど、保育を必要としている全ての児童が保育園などに入所できるよう、保育環境の整備を図ってまいります。

○議長（坂本莉奈議員） 中台中学校、大須賀議員。

〔中台中学校 大須賀議員 自席で起立〕

○大須賀光議員 私は、中台中学校 2 年の大須賀光です。

ご答弁ありがとうございます。質問を続けます。

成田市では、病児・病後児保育施設が 3 施設開設されています。インフルエンザ流行時には、1 か月で 62 名もの利用者があり、リピーターも多い施設であると伺いました。利用料金が 6 時間以上の場合で 2,000 円ですが、複数の子どもを持つ親が何日も預けることになった際の負担は大変大きいことと考えます。もっと低料金にできないでしょうか。また、インフルエンザなど感染症が流行しているときには、十分対応ができているのでしょうか。以上、2 点についてお答え願います。

○議長（坂本莉奈議員） 田中健康こども部長。

〔健康こども部長 田中みを 自席で起立〕

○健康こども部長（田中みを） 大須賀光議員の病児・病後児保育事業についてのご質問にお答えいたします。

病児・病後児保育事業は、子どもが病気になった時または病気の回復期に、保護者が仕事などにより子どもを看病できない場合に、病院などで一時的に保育を行い、安心して子育てができる環境を提供するものであります。

本市における病児・病後児保育事業の利用料は、6 時間以上の利用で 2,000 円に設定しておりますが、利用時間が 6 時間未満の場合は 1,500 円としているほか、市県民税が課税されない世帯では無料としており、利用する時間や世帯の所得の状況に配慮した利

用料とし、経済的な負担の軽減を図っているところです。

利用料につきましては、病児・病後児保育事業の運営にかかる経費の一部を利用者にご負担いただく考え方に基づき金額を設定しておりますことから、現時点で利用料の変更の予定はございません。

なお、本年 10 月より開始となる幼児教育・保育の無償化において、認可外保育施設などを利用されている方につきましては、病児・病後児保育事業の利用料も無償化の対象となりますことから、より負担の軽減が図られる見通しです。

また、病児・病後児保育施設につきましては、「成田市子ども・子育て支援事業計画」の整備目標に基づき、平成 29 年度及び 30 年度に各 1 施設ずつ新設し、現在までに 3 施設での運営体制を整えてまいりましたが、インフルエンザなどの感染症が流行する 1 月及び 2 月は利用希望が集中するため、キャンセル待ちが発生している状況です。

一方、同時期においても、施設により利用状況に差があることから、今後は、成田市子育て応援サイトにて、病児・病後児保育施設の予約状況を公開し、利用を希望される方が、空きのある施設を容易に選択することができるように、対応を検討してまいります。

本市といたしましては、引き続き、病児・病後児保育施設の運営の支援を行うとともに、各施設の協力、連携体制の構築などに取り組み、市民が利用しやすい病児・病後児保育事業の実施に努めてまいりたいと考えております。

○議長（坂本莉奈議員） 中台中学校、大須賀議員。

〔中台中学校 大須賀議員 自席で起立〕

○大須賀光議員 ご答弁ありがとうございました。質問の機会をいただきましたことで、成田市における病児・病後児保育施設を見学し、関係者の方々のご苦勞の一端を知ることができました。

これからも、身の回りの諸問題に関心を持って、成長していきたいと思います。また、発展し続ける成田市がどのような変容を遂げるのか、楽しみにしています。

これで、中台中学校からの質問を終わります。

○議長（坂本莉奈議員）　これで、各中学校の代表質問を終わります。

（午後　３時 31 分）

◎市長の講評

○議長（坂本莉奈議員）　ここで、市長より発言を求められておりますので、これを許します。小泉市長。

〔市長　小泉一成　登壇〕

○市長（小泉一成）　中学生議員の皆さん、大変お疲れさまでした。今議会の全ての答弁が終了いたしましたので、最後に私から「講評」を申し上げます。

まず、皆さんの堂々たる質問する姿を拝見して大変頼もしく、そして、大変嬉しく思いました。そして、中学生議員の皆さんからいただいた質問や意見は、成田市が直面している重要課題であったり、安全・安心な市民生活に関することであったり、成田市の良さを発信することであったり、大変貴重な、そして素晴らしい質問や意見であったと思います。皆さんの成田に対する思いというものを強く感じましたので、私や教育長、あるいは、各部長も全力で答弁をさせていただきました。

皆さんからいただいた貴重な質問あるいは意見・提言は、私のモットーであります『“住んでよし、働いてよし、訪れてよし”の生涯を完結できる空の港まちづくり』に、そして今後の成田市の発展のために、大いに役立ててまいりたいと思います。

また本日、皆さんは自ら質問をするとともに他の議員の質問も聞き、また、市の答弁を聞き、見聞が一つ広がったと思います。どうか今日経験したこと、あるいは感じたことを学校の仲間や家族の皆さんにも、伝えていただきたいと思います。そして、成田市の発展のため、また、住みよい成田のために、皆さんと一緒にこれからも考えていければと思います。

結びにあたりまして、本日お忙しい中、傍聴をしていただきました保護者の皆さん、学校関係者の皆さん、議員の皆さんに感謝を申し上げまして、令和元年度中学生議会の講評といたします。

議員の皆さん、大変お疲れさまでした。

(午後 3 時 34 分)

◎議会の閉会

○議長（坂本莉奈議員） これをもって、今、議会の日程は終了いたしました。以上をもちまして、令和元年度 成田市中学生議会を閉会いたします。ご協力ありがとうございました。

(午後 3 時 34 分)
